

1. 聖籠町の「生涯活躍のまち」の基本コンセプト

(1) 「地域包括ケアシステム」を中心とした生涯活躍のまち

聖籠町には、各種の介護事業所や施設が立地している。平成 28 年 9 月には新潟聖籠病院が開院し、地域包括ケアシステムを構築する上での基盤が整いつつある。こうした地域特性に加えて、聖籠町が移住候補地になると回答した人（「どちらかと言うと移住候補地になる」も含む）は、移住先での「地域包括ケアシステム」の取り組みを重視する割合が高いというアンケート調査結果が得られている。

介護関連施設が充実している地域特性、移住検討者の地域包括ケアシステム重視の姿勢を踏まえ、町内外の高齢者が安心できるまちづくり（地域包括ケアシステムの構築）を、聖籠町の生涯活躍のまち基本コンセプトに据える。

(2) 若者、ファミリー層、高齢者が「多世代共生」する生涯活躍のまち

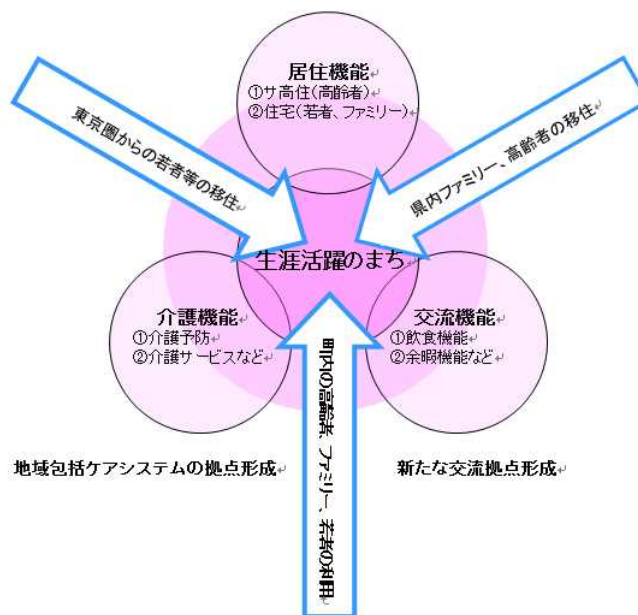
新潟県在住者では「60 歳以上」が、東京圏在住者では「20～30 歳代」が、「移住候補地になる」割合が他年代に比べて高く、聖籠町への移住に前向きな人々は、新潟県在住者では 30 歳代のファミリー層、東京圏在住者では 20 歳代のファミリー層が高かった。

こうしたアンケート調査結果を踏まえ、東京圏では若い世代を、新潟県ではファミリー層と高齢者を生涯活躍のまちの「ターゲット」とし、若者、ファミリー層、高齢者が「多世代共生」する生涯活躍のまちを基本コンセプトに据える。

(3) 交流機能を導入し、地域に開かれた生涯活躍のまち

先進事例「シェア金沢」では、高齢者向け住宅、障害児入所施設、学生住宅といった居住機能だけではなく、レストラン、カフェ&バー、天然温泉、売店、アルパカ牧場、ドッグランなどの交流機能も導入されている。その結果、近隣住民も利用し、高齢者や障害者の住まいでありながら、近隣住民の交流拠点となり、活気のあるまちが形成されている。

聖籠町の生涯活躍のまちも、地域包括ケアシステムの拠点となるとともに、地域に活力をもたらすものにすべきである。そこで、介護予防、介護サービス等の機能を充実させるとともに、聖籠町への移住が期待できる若者層、ファミリー層、高齢者層の居住機能と、町民も入居者も利用できる交流機能を導入し、地域に開かれた生涯活躍のまちを基本コンセプトに据える。



2. 聖籠町の「生涯活躍のまち」のイメージ

【居住機能のイメージ】

学生・若者、ファミリー層、高齢者層といった様々な年代のニーズに沿った住宅を提供する。



オークフィールド八幡平：住棟



シェア金沢：学生向け住棟

【交流機能のイメージ】

入居者と周辺住民が気軽に利用し交流できるよう、飲食、文化、健康増進機能などを導入する。



オークフィールド八幡平：レストラン

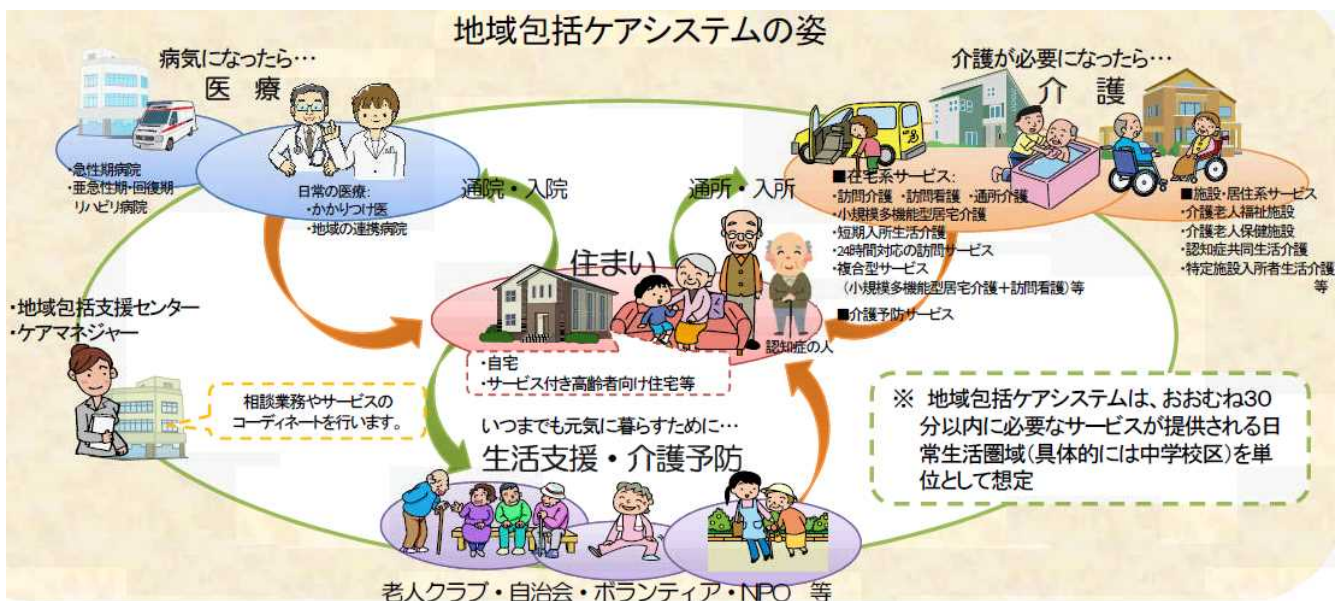


ゆいまーる那須：ライブラリー

【地域包括ケアシステムのイメージ】

厚生労働省では、要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を促している。

地域包括ケアシステムは、人口約1万人程度の日常生活圏を一つの単位として想定している。人口約1万4千人の聖籠町では、「生涯活躍のまち」が下図の「住まい」の一部となる。新潟聖籠病院、介護事業者、地域を支える団体等が連携しながら、「生涯活躍のまち」の居住者と町民に対して適切なサービスを提供していく。



▲出典：厚生労働省HP

3. 聖籠町の「生涯活躍のまち」の具体像

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が平成28年4月に示した「「生涯活躍のまち」構想に関する手引き（第3版）」では、「「生涯活躍のまち」構想は、「入居者」「立地・居住環境」「サービスの提供」「事業運営」の4つの観点から具体化する必要があるとしている。

これまでの調査結果や聖籠町の地域特性を踏まえた4つの観点に関する具体像は、下記のとおりである。

(1) 入居者

◆子育てや教育環境を重視する若いファミリー層の転入促進

聖籠町は新潟東港工業地帯、新潟市に通勤可能な立地環境、充実した子育て環境などを備えている。これらの地域特性を活かし、新潟県内や東京圏から「子育てや教育環境を重視する若いファミリー層」の転入を促す。

◆安心して暮らせるまちを求める元気な高齢者層の入居促進

町内の医療機関や介護事業所の集積を活かし、高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアシステムを構築して、町内外から「元気な高齢者層」の入居を促す。

◆ボランティア活動や地域活動に関心ある学生の入居促進

聖籠町にはJAPANサッカーカレッジが立地し、周辺地域には大学も立地している。町内に学生が居住する地域特性を活かし、ボランティア活動や地域活動に関心ある町内外の学生の入居を促す。

(2) 立地・居住環境

◆医療機関との連携を踏まえた立地

充実した地域包括ケアシステムの構築、病気になっても心強い「生涯活躍のまち」の形成に向けて、医療機関との連携を強化していく。医療機関との連携を「生涯活躍のまち」の魅力の一つとするため、新潟聖籠病院に近接した場所に「生涯活躍のまち」を築く。

◆町民のアクセス性に配慮した立地

「生涯活躍のまち」は、町内の高齢者等の介護予防や健康増進に貢献し、なおかつ町民の交流活動の拠点としても役立つよう、町内各所からアクセス性の良好な場所に「生涯活躍のまち」を築く。

◆拡張性を備えた立地

生涯活躍のまちは、町内外の高齢者の増加に伴い、入居希望者が増える可能性がある。将来の拡張性を備えた場所に「生涯活躍のまち」を築く。

(3) サービス提供

◆住み替えサービス

聖籠町の「生涯活躍のまち」に関心を持った学生、ファミリー層、高齢者層が、現在の住まいから「生涯活躍のまち」の住まいへの円滑な住み替えができるよう支援サービスを提供する。

◆就労支援サービス

聖籠町の「生涯活躍のまち」に転入する若いファミリー層が、町内外で仕事を確保できるよう、町内企業の情報や新潟県のU I J ターン支援制度などを紹介するコンシェルジュ機能を提供する。

◆子育て支援サービス

聖籠町の「生涯活躍のまち」に転入する若いファミリー層が、仕事と子育ての両立ができるよう、こども園の入園や子育て支援制度の活用を促すサポート機能を提供する。

◆地域活動紹介サービス

聖籠町の「生涯活躍のまち」に入居する学生、ファミリー層、高齢者層が、様々な地域活動やボランティア活動に参加できるよう、活動内容や活動団体を紹介するサービスを提供する。

◆交流機能の提供

「生涯活躍のまち」が、入居者と町民にとって楽しい生活拠点となるよう、「生涯活躍のまち」に人々の交流を促す機能やプログラムを提供する。

(4) 事業運営

◆民間主導の事業運営

聖籠町の「生涯活躍のまち」は、民間事業者が中心となり施設整備と施設運営を行う。聖籠町は民間事業者が事業化しやすくなるよう条件を整えるなどの側面支援を行う。

◆核となる事業主体の確保

「生涯活躍のまち」では、学生・若者、ファミリー層、高齢者層が入居する住宅を整備し、長期にわたり管理運営を行う。このため、利益があがる事業スキームを検討し核となる民間事業者を募る。

◆多様なサポーターの参画

「生涯活躍のまち」が、入居者や町民の活躍の場となるよう、「生涯活躍のまち」の運営サポーターやプログラム提供の担い手として、様々な個人、団体の参画を促す。

~~~~ 聖籠町の「生涯活躍のまち」の概要 ~~~~

◎**地域特性**：田園地域型（田・畑が約4割を占める地目別面積割合）

◎**事業主体**：民間事業者主導（不動産業者、介護事業者、医療法人、社会福祉法人等を想定）  
聖籠町は側面支援

◎**地域的広がり**：エリア型（主として一定の地域を集中的に整備することを想定）

◎**住み替え**：広域移住型（東京圏から移住者を募る）  
近隣転居型（近隣地域から移住者を募る）

◎**立地地域**：新潟聖籠病院との近接性、町内各地からのアクセス性、将来の拡張性を満たす地域  
第2次聖籠町都市計画マスタープラン（平成23年3月）に示された下記エリアを想定  
商業・業務促進エリア（進出を希望する商業施設や業務施設の誘導地となるエリア）

## 「生涯活躍のまち」の運営主体・住民

- ◎**運営主体**：不動産業者、介護事業者、医療法人、社会福祉法人等
- ◎**住宅戸数**：(今後検討)
- ◎**入居者**：学生・若者（単身世帯）、ファミリー層（核家族世帯）、高齢者層（単身・核家族世帯）
- ◎**前居住地**：東京圏、聖籠町近隣市町村、聖籠町内
- ◎**要介護度**：自立者中心

## 「生涯活躍のまち」の住まい・まちづくり

- ◎**導入施設**：住宅、交流施設（飲食施設、健康増進施設、文化活動施設等）
- ◎**導入住宅**：学生・若者向け住宅（集合住宅、賃貸形式）  
ファミリー向け住宅（戸建住宅、分譲形式）  
高齢者向け住宅（集合住宅、賃貸形式）
- ◎**施設配置**：多世代交流に向け各住宅を混在配置
- ◎**施設利用**：交流施設は入居者と町民の両者に開放

## 「生涯活躍のまち」の活動

- ◎**運営活動**：入居者は「生涯活躍のまち」の運営に参画
- ◎**ボランティア活動**：学生・若者は「生涯活躍のまち」を支えるボランティア活動に誘導
- ◎**日常生活**：高齢者層は、介護予防や健康増進プログラムに参加  
入居者と町民は「生涯活躍のまち」で提供するプログラム（文化活動等）に参加  
若者、ファミリー層は、町内外の企業に就職

## 「生涯活躍のまち」のケア

- ◎**医療**：新潟聖籠病院と連携し、日常の健康管理や在宅医療などを提供  
新潟県内の大学と連携し、食堂で栄養バランスの取れた食事を提供
- ◎**介護**：訪問介護、通所介護などを誘致し、昼間の介護サービスを提供  
夜間対応型訪問介護を誘致し、夜間の介護サービスを提供  
学生・若者の入居者が、高齢者の見守りを担当

## 4. 聖籠町の今後の取り組み

聖籠町が「生涯活躍のまち」の実現を図るべきとの判断に至った場合には、「生涯活躍のまち」の実現に向けて、聖籠町は下記事項に取り組むことが求められる。

### (1) 事業スキーム（枠組み）の検討

「生涯活躍のまち」の整備・運営の核となる民間事業者の参入に向けて、事業スキームを検討する必要がある。民間事業者が土地を借りるか購入し、住宅や交流施設を建設した場合、住宅賃料で投資を回収しようとする高額な賃料になりかねない。このため、子育て環境に恵まれた地域特性を活かし、ファミリー層向けの戸建住宅を販売することで投資を回収するといった手法を組み合わせ、学生・若者、高齢者層が入居しやすい賃料設定と民間事業者の進出可能な事業スキームを両立させることが重要になる。民間事業者が、聖籠町の「生涯活躍のまち」の整備・運営に乗り出す条件を探るために、事業計画を策定することが求められる。

### (2) 事業用地の選定

新潟聖籠病院との連携、住民のアクセス性、将来の拡張性を考慮して、「生涯活躍のまち」に適した事業用地を探すことが求められる。聖籠町の面積は3,758haであるが、市街化区域は1,034haと全体面積の3割に満たない。このため、市街化調整区域に事業用地を求めて、土地利用を見直すことも選択肢に入る可能性がある。ただし、聖籠町では、市街化調整区域とほぼ重なる区域が農業振興地域に指定されており、農用地区域の状況などを踏まえて、事業用地を選定することが必要になる。

### (3) 地域包括ケアシステムの構築

行政の保健福祉部門、地域包括支援センター、デイサービスセンターなどを併設した保健福祉センター、町内の介護事業者、新潟聖籠病院などとの連携により、地域包括ケアシステムの充実に向けた検討を進めるとともに、「生涯活躍のまち」の位置づけ、医療・介護の関わり方も検討することが求められる。

### (4) 交流施設の検討

入居者と町民が利用できる「生涯活躍のまち」にふさわしい交流施設として、飲食施設、介護予防施設、健康増進施設、文化活動施設などが考えられる。町民が求めている交流施設のあり方を探るとともに、その事業性を検証して、「生涯活躍のまち」に導入する交流施設の内容を具体化することが求められる。

### (5) 住み替え支援体制の整備

「生涯活躍のまち」に関心を持った学生、ファミリー層、高齢者層が、現在の住まいから「生涯活躍のまち」円滑に住み替えができるよう支援体制を整える必要がある。住み替え支援サービスを提供している一般社団法人移住・住みかえ支援機構やその協賛事業者（新潟県内2業者）などと連携して、住み替えを支援する仕組みを整える必要がある。

#### **(6) 就業支援体制の整備**

若者やファミリー層の「生涯活躍のまち」への入居を促すためには「住まい」とともに「しごと」を提供することが重要になる。新潟東港工業地帯の企業集積や新潟市への通勤可能な立地条件を活かし、仕事を紹介する支援体制を整えることが求められる。町内企業の情報や新潟県のU I J ターン支援制度などを紹介するコンシェルジュ機能などを整える必要がある。

#### **(7) ファミリー層の転入促進に向けた子育て支援体制の整備**

子育てを行っているファミリー層の転入を促進し、「生涯活躍のまち」に転入する若いファミリー層が仕事と子育てが両立できるようにするためには、こども園の入園や子育て支援制度の活用を支援する体制を整える必要がある。

#### **(8) 地域活動への参加や生きがいがいづくりの支援体制の整備**

聖籠町の「生涯活躍のまち」に入居する学生、ファミリー層、高齢者層が、様々な地域活動やボランティア活動に参加できるよう、活動団体・活動プログラムを紹介する仕組みをつくる必要がある。情報提供を行うとともに、実際に活動現場に招いて体験機会を提供していく紹介体制を築くことが求められる。